

令和  
3年  
12月  
発行

R3-2号

# 自主防災組織だより

多摩市 総務部 防災安全課 TEL:042-338-6802(直通)

新たに2つの自主防災組織が結成され、合計185組織となりました！

- ・中沢1丁目団地自主防災組織（中沢1-12）
- ・豊一防災有志グループ（豊ヶ丘1丁目）

近隣の皆さんで互いに連携し、自主防災活動の共助の輪を広げましょう！

あらためて

## 災害時の情報収集手段を確認しましょう

災害時には受け身にならず、自ら情報を入手しにいくことが大切です。情報入手手段を複数知っておくことで、いざという時に備えましょう！

### 防災行政無線

放送した内容は

**050-5433-9162**に

おかけいただくと確認することができます。  
また、右の二次元コードのサイトでも  
内容を確認することができます。



### エリアメール 緊急速報メール

事前登録は不要で、市内にいる方の  
携帯電話、スマートフォンに災  
害情報が一斉に配信されます。

### NHKデータ放送

テレビのリモコンの**dボタン**（  
データボタン）を押して、「地域  
の防災・生活情報」を選択すると  
、避難情報、気象情報等を確認す  
ることができます。

### 多摩市公式ホームページ

災害発生時の避難に関する情報などの緊急的  
な情報は、トップページ上部に掲載します。  
その他、市政全般のさまざまな情報を掲載し  
ていますので、ぜひ一度ご覧ください。



### Yahoo! 防災速報アプリ

設定した地域や現在地の避難情報や  
緊急地震速報・国民保護情報（Jアラート）  
豪雨予報などの防災に関する速報を  
通知するアプリです。



### 防災情報メール

登録制のメール配信サービスです。  
**mail\_reg@tamacity.mwjp.jp**  
にメールを送るか、下記二次元コー  
ドから登録してください。

（注意：tamacity.mwjp.jpからの  
メールを受信できるように設定して  
おいてください。）



# していますか？家具類の転倒防止対策！

令和3年10月7日、千葉県北西部を震源とするマグニチュード5.9、最大震度5強を観測する地震が発生。多摩市でも震度4を計測しました。いつくるか分からない地震に備えて、自分の身を守るだけでなく、家族や大切な人を守るためにも、家具転倒防止対策を行いましょう！！

## なぜ必要なのか

地震で家具類が転倒・落下・移動すると、怪我、火災、避難障害が発生する可能性があります。また、昨今は感染症拡大防止の観点から「在宅避難」をすすめており、より安全な自宅環境を整える必要があります。



### 怪我

地震による怪我の原因の約30%～50%が、家具類転倒・落下・移動によるものです。



### 火災

家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生することがあります。ストーブや水槽ヒーターなど、熱を発する器具に家具類が転倒をした場合だけでなく、ストーブ等に家具類の収容物（本棚の本など）が落下することでも、火災が発生する危険があります。



### 避難障害

出入口付近の家具が転倒し、扉を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。大地震が発生した場合、こうして室内に閉じ込められてしまうと、そのまま長時間救出されない可能性があります。また、割れた食器やガラスが避難の際の歩行の障害となる場合もあります。

## 進め方

家具転倒防止対策を以下のような順序に従って実施してみましょう。

### 集中収納 (居住と収納の分離)

クローゼットや押入れ、物置などの備え付けの家具に収納を集中させることによって、生活空間にある家具を減らしましょう。



### レイアウト(配置)の 見直し

次に、家具の配置を決めます。負傷や避難障害を発生させにくいレイアウトにします。



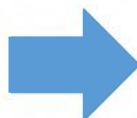
### 転倒防止対策

その上で、器具等を取り付け、家具の転倒防止対策を行います。



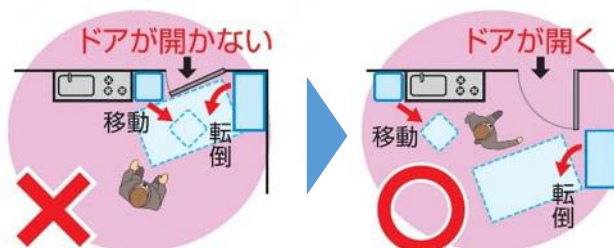
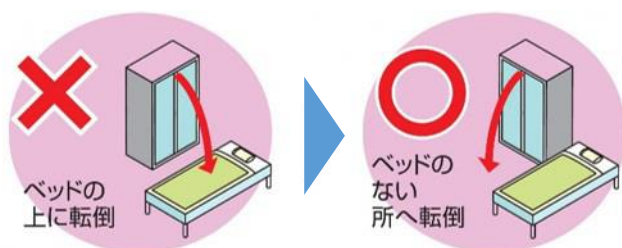
# 実際にやってみよう！

## 集中収納(居住と収納の分離)



家具転倒防止対策で最も有効な方法は、生活空間にある家具をできる限り減らすことです。納戸やクローゼット、押入れ等に集中して収納することで、普段過ごすことが多い場所に家具類をあまり置かないようにしましょう。また、物を収納する際は、重たいものを下の方に、軽いものを上の方に収納しましょう。

## レイアウト(配置)の見直し

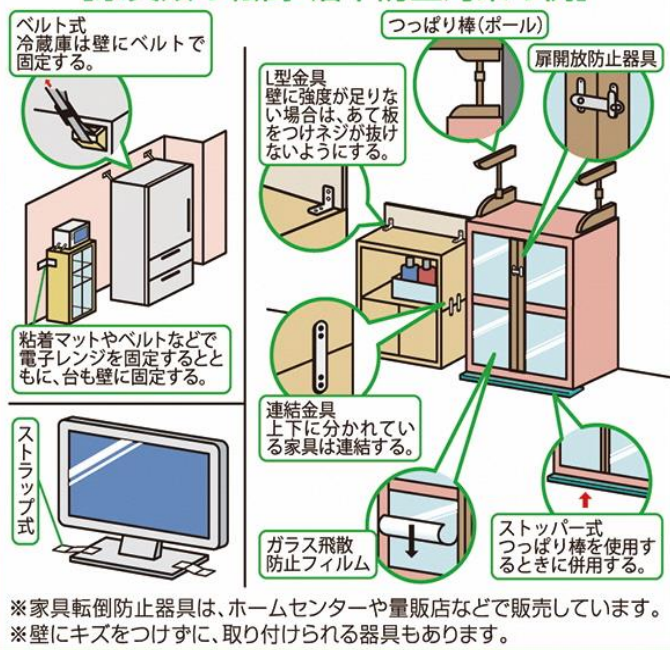


家具類の配置を、負傷や避難障害を発生させにくいレイアウトにします。「寝る場所」や「座る場所」にはなるべく家具を置かないようにしましょう。置く場合は、背の低い家具にするか、家具の置き方を工夫しましょう。その上で、家具を固定するなどの対策を行います。

## 家具類の転倒防止対策

最も効果の高い器具はネジで固定するもの（L型金具等）です。しかし、賃貸住宅にお住まいの方や、大切な家具に傷をつけたくない方は、穴を開けなくて済む器具を、**2つ以上組み合わせ**て行う方法がおすすめです。例えば、ストッパー式（もしくは粘着マット式）器具とポール式器具を2つ組み合わせることで、一番効果の高いL型金具と同等の効果を発揮します。また、食器などの収容物が散乱して怪我をする場合もあるので、扉開放防止器具や、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの対策も必要です。

### 【家具類の転倒・落下防止対策の例】



| 使用条件  | 器具の効果          |          |                  |                   |                   |
|-------|----------------|----------|------------------|-------------------|-------------------|
|       | 小              |          |                  |                   | 大                 |
| 単独使用  | ストッパー式<br>     | ボール式<br> | L字金具 (スライド式)<br> | L字金具 (上向き取付け)<br> | L字金具 (下向き取付け)<br> |
|       | マット式<br>       |          | ベルト式<br>         | プレート式<br>         |                   |
| 組合せ使用 | 家具と天井に十分な強度が必要 |          |                  | ポール式 + マット式<br>   | ポール式 + ストッパー式<br> |
|       |                |          |                  | 家具、壁面や器具に十分な強度が必要 |                   |

# 自主防災組織への訓練支援について

各自主防災組織が訓練を行う際に、必要な物品の支給、貸出をいたします。炊き出し訓練用食料のほか、展示用防災用品、隔壁板破壊訓練用資器材、避難所運営ゲーム(HUG)、クロスロード等の物品貸出を行います。事前に「防災訓練申込書」の提出が必要となりますので、下記ホームページから書式をダウンロードいただくか、市役所本庁舎2階防災安全課にて用紙をお受け取りになり必要事項を記入し、下記お問い合わせ先までメール、FAX又は郵送にてお申込みください。

多摩市公式ホームページ▶防災▶災害に備える(自主防災)▶自主防災組織▶防災訓練

## 合同訓練助成金について

地域の連携を深める為に、**2つ**以上の自主防災組織や防災連絡協議会が合同で訓練を実施する場合、その訓練経費の一部として**5万円**を限度に市が助成します。

|      |   |
|------|---|
| 対象事業 | 自主防災組織が合同で行う防災訓練<br>(自主防災組織代表者から申請をお願いします。) |
| 対象経費 | 合同訓練に必要な消耗品、印刷製本費、通信費、研修費、原材料費、役務費及び備品費     |
| 申請期限 | 実施日の2ヶ月前まで                                  |

※他の補助金と重複して助成を受けることはできません。

\*ご計画になる前に、まずはお問い合わせください。詳しくご説明いたします。



## 訓練用食糧の事前予約について



令和4年度も、防災訓練用食料として、備蓄米（1袋5kg30食分）、アルファ米（1箱50食分）、クラッカー（1缶35食）を提供させていただく予定です。なお、令和4年度につきましても数量を確保する都合から、事前予約制とさせていただきます。事前予約をされなかった場合は、数量の関係で提供できない場合がございますので、ご了承ください。

詳しくは市からのお知らせをご確認ください  
(1月～2月頃通知予定)

お問い合わせ

多摩市役所 総務部 防災安全課 防災担当  
〒206-8666 関戸6丁目12-1

TEL : 042-338-6802

FAX : 042-339-7422

E-mail : tm042000@city.tama.tokyo.jo